



さあ！2学期のスタートです！！

8月23日（金）は2学期の始業式でした。30日間の夏休みを終え、一段とたくましくなった子どもたちが、元気よく登校してきました。子どもたちの輝く笑顔の中に、楽しく充実した夏休みであったことが伺えました。今年は7月末までの長梅雨で夏本番はいつになるかと心配しましたが、梅雨が明けると同時に連日の猛暑となり、身体に心える暑さが続きました。夏休み中、子どもたちが大きな怪我や事故もなく元気に過ごすことが出来たのも、保護者や地域の皆様の日常的なご支援・ご指導のお陰であると思っています。心より感謝申し上げます。



また、真夏の強い日差しが照りつける暑い中、プール当番として貴重な時間を費やして下さいましたPTA役員の皆様方にも深くお礼を申し上げます。おかげさまで子どもたちが安全にプールを楽しむことができました。ありがとうございました。

始業式の中の作文発表では、3年生と5年生の両男子が、楽しくて充実していた夏休み中のことと2学期に向けての決意を力強く語ってくれました。

学校では9月に入ると運動会の取組が始まります。しばらくは厳しい残暑が続くとの予報も出ておりますが、体調管理を第一に、学校生活のリズムを取り戻して欲しいと思います。

PTA親子早朝作業へのご協力、ありがとうございました。

24日（土）に昨年度は雨天でできませんでした学校敷地内の除草作業を実施することができました。集合時間の6時過ぎにはまだ涼しさもありましたが、太陽が高くなっていくにつれて暑さも増してきました。そのような中ではありましたが、広範囲に生い茂った雑草をきれいさっぱりと薙ったり抜いたりしていただいたおかげで、作業前とは見違えるようにきれいになりました。児童・保護者・おやし&母親の会の皆様方には深く感謝申し上げます。これも全校で95%を超える出席率と大人数で一気に作業をしたこと、そして何よりも一生懸命に除草作業をしてくださったからだと思います。北小地区のパワーが感じられた時間でした。この素晴らしい環境のもと、子どもたちは2学期の学校生活をスタートすることができます。本当にありがとうございました。



D語よりY語で行こう！

D語というのは、「でも」「だって」「どうせ」といったようにDで始まる後ろ向きな言葉を指します。逆にY語は、「よーし」「やるぞ」「喜んで」といったYで始まる前向きな言葉を指します。

前向きな言葉には、プラスの力があるとよく言われます。その場にいる人を明るい気持ちにさせるだけでなく、不思議と自分自身も明るい気持ちになります。「よーし」とか「やるぞ」は、本校の子どもたちからもよく聞くことができます。



事業家である山崎拓巳さんは、「成功者たちは『やる気のスイッチ』を持っている」と言っておられます。何事もどうせやるなら、前向きな心で取り組みたいものです。前向きなY語があふれたら、きっと明るい学校、明るい社会になることでしょう。

迷ったら声をまず出してみませんか？「よーし」「やるぞ」「喜んで」。プラスの言葉のあふれる明るい地域、社会にしていきませんか。

あらたまってスピーチをするときは、子どもでも大人でも誰しものが「よそ行きの言葉」を使います。だから、その人らしさは出にくくなります。逆に、あまり意識しないで発する何気ない「口癖」に、その人の人生観や価値観が表れます。「世界各国と比べて、日本の若者の自己肯定感が低い」という報道をよく目にしますが、「でも、他の人だって言っている（やっている）」「どうせ、頑張ったって」「だって、変わらないし」のような口癖が氾濫しているのではないのでしょうか？

「よーし」「やるぞ」「喜んで」。実際、前向きなY語の言葉を発するだけで、内側からエネルギーがわき上がってきます。さあ、今から口癖を切り換えていきましょう！

サイレントクリーニング(無言清掃)への取り組み

1学期に引き続き児童会では、「あいさつ運動」「感謝の実」「リサイクル活動」などの取り組みに加え、「サイレントクリーニング」いわゆる無言清掃に取り組みます。この取り組みを始める理由として子どもたちの私語により清掃の手が止まってしまったり、気持ちが清掃から別のことに一端離れることで清掃分担場所をきれいにしようという気持ちが薄らいでしまったりするという現状が挙げられます。



この取り組みの目的は、相手を思いやる協調性を養ったり、学校の環境と自分の気持ち(心)を整えたりすることです。初めは意思の疎通を図ることができずに、きれいに

しきれないこともあるかもしれませんが、自分の頭で考え無言で清掃をすることで、子どもたちが尚一層落ち着いた学校生活を送り、集中力を身につけてほしいと思います。



小中学生環境教育等発表大会

25日(日)に北杜市の甲陵高校で「日本教育学会 山梨大会」が開催されました。環境教育関係者をはじめとして、小中高の教員や大学の先生、小中高校生計70名ほどが参加していました。縁あって本校からも「地域と共に学んで育つ～学校・PTA・おやじ母親の会から～」のテーマで、児童会長の小田切莉桜さんが発表しました。とても聞き取りやすいスピードと声のボリュームで、北小の活動の様子を参加者に伝えてくれました。



教育実習生

来月2日(月)から27日(金)まで本校卒業生の長谷部 優さんが1年生を中心に学校生活を送り、教職を目指します。

お知らせ

2学期は「きたっ子」を4回だけカラー刷りでお届けします。

